



各 位

上場会社名
代表者
(コード番号
問合せ先責任者
(TEL

株式会社 タカギセイコー
代表取締役社長 笠井 千秋
4242)
取締役管理本部長 石黒 勝己
0766-24-5522)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年5月14日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	24,560	90	△70	△220	△16.36
今回修正予想(B)	26,970	340	210	△70	△5.20
増減額(B-A)	2,410	250	280	150	
増減率(%)	9.8	277.8	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	24,003	△169	△201	△590	△43.90

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	53,910	1,590	1,170	370	27.51
今回修正予想(B)	52,270	1,010	790	20	1.49
増減額(B-A)	△1,640	△580	△380	△350	
増減率(%)	△3.0	△36.5	△32.5	△94.6	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	53,004	828	844	△638	△47.49

修正の理由

当第2四半期連結累計期間は、タイでの洪水被害からの着実な復旧と当社受注スマートフォン機種のお客様での好調な販売推移による受注数量増加及び日本からの輸出金型の前倒し売上計上等により、売上高は前回発表の24,560百万円を9.8%上回る26,970百万円の見通しとなりました。また、損益面においても、増収効果及びグループをあげての総原価低減活動等により、営業利益、経常利益及び四半期純利益ともに前回発表の数値を上回る見通しとなりました。

一方、通期の業績予想につきましては、中国における経済成長の鈍化に加え尖閣問題の実体経済への影響やインドネシアにおける二輪車のローンを対象とした頭金規制の影響及び日本でのエコカー補助金制度終了等により、景気の先行きは依然として不透明感が強く厳しい状況が続くものと想定され、売上高は前回発表の53,910百万円を3.0%下回る52,270百万円の見通しとなりました。また、損益面においても、海外を主因とする減収影響及び中国におけるパソコン筐体部品生産事業における新たな取り組みへの先行開発費用の発生等により、営業利益、経常利益及び当期純利益ともに前回発表の数値を下回る見通しとなりました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上